

## 6 環境・地域活動

- 
- (1) 環境のために心がけていること
  - (2) この1年間に参加した活動と今後の参加意向
  - (3) 区役所と区民・団体等との協力・連携（協働）した事業推進の評価
-



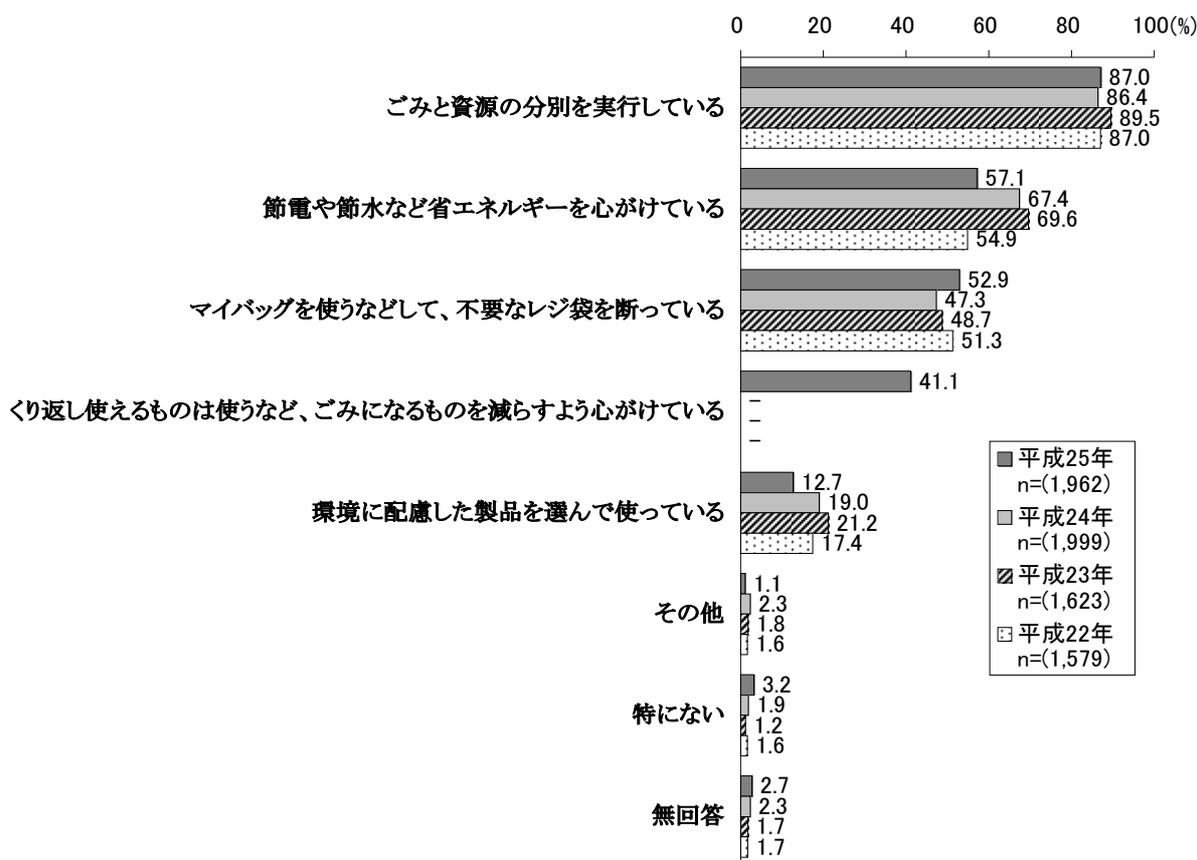
## 6. 環境・地域活動

## (1) 環境のために心がけていること

- 「ごみと資源の分別を実行している」が9割近い数値を維持しているが、「節電や節水など省エネルギーを心がけている」は前年から減少し、省エネ意識の低下がうかがえる。

問24 あなたが環境のために心がけていることは何ですか。(○はあてはまるものすべて)

図6-1-1 経年比較／環境のために心がけていること



※ 「くり返し使えるものは使うなど、ごみになるものを減らすよう心がけている」は今回新設。

環境のために心がけていることとしては、「ごみと資源の分別を実行している」が87.0%で9割近い数値を維持し最も高く、以下「節電や節水など省エネルギーを心がけている」(57.1%)、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」(52.9%)の順となっている。

また、「節電や節水など省エネルギーを心がけている」は、前回から10.3ポイント減となっている。

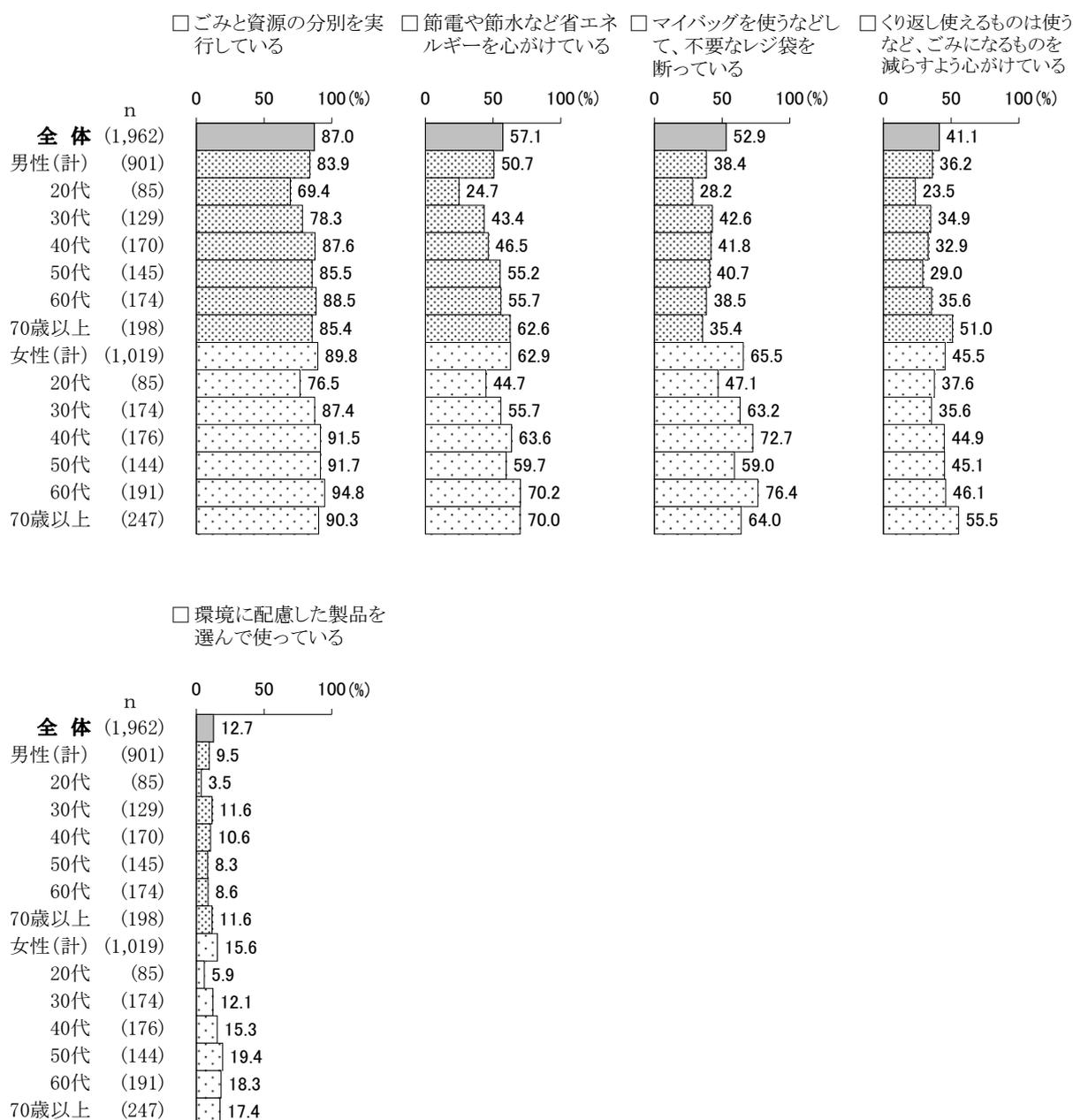
### 第3章 調査結果の分析

性別で見ると、いずれの項目も女性が男性を上回っており、「節電や節水など省エネルギーを心がけている」は男性50.7%、女性62.9%と女性が12.2ポイント高く、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」は男性38.4%、女性65.5%と、女性が27.1ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、男性では、「ごみと資源の分別を実行している」は、40代から70歳以上で8割を超えている。「節電や節水など省エネルギーを心がけている」は20代で24.7%と最も低く、加齢とともに増加し、70歳以上では62.6%となっている。

女性では、「ごみと資源の分別を実行している」は、40代から70歳以上で9割を超えている。「節電や節水など省エネルギーを心がけている」は、60代、70歳以上で、それぞれ70.2%、70.0%と高くなっている。

図6-1-2 性別、性・年代別／環境のために心がけていること

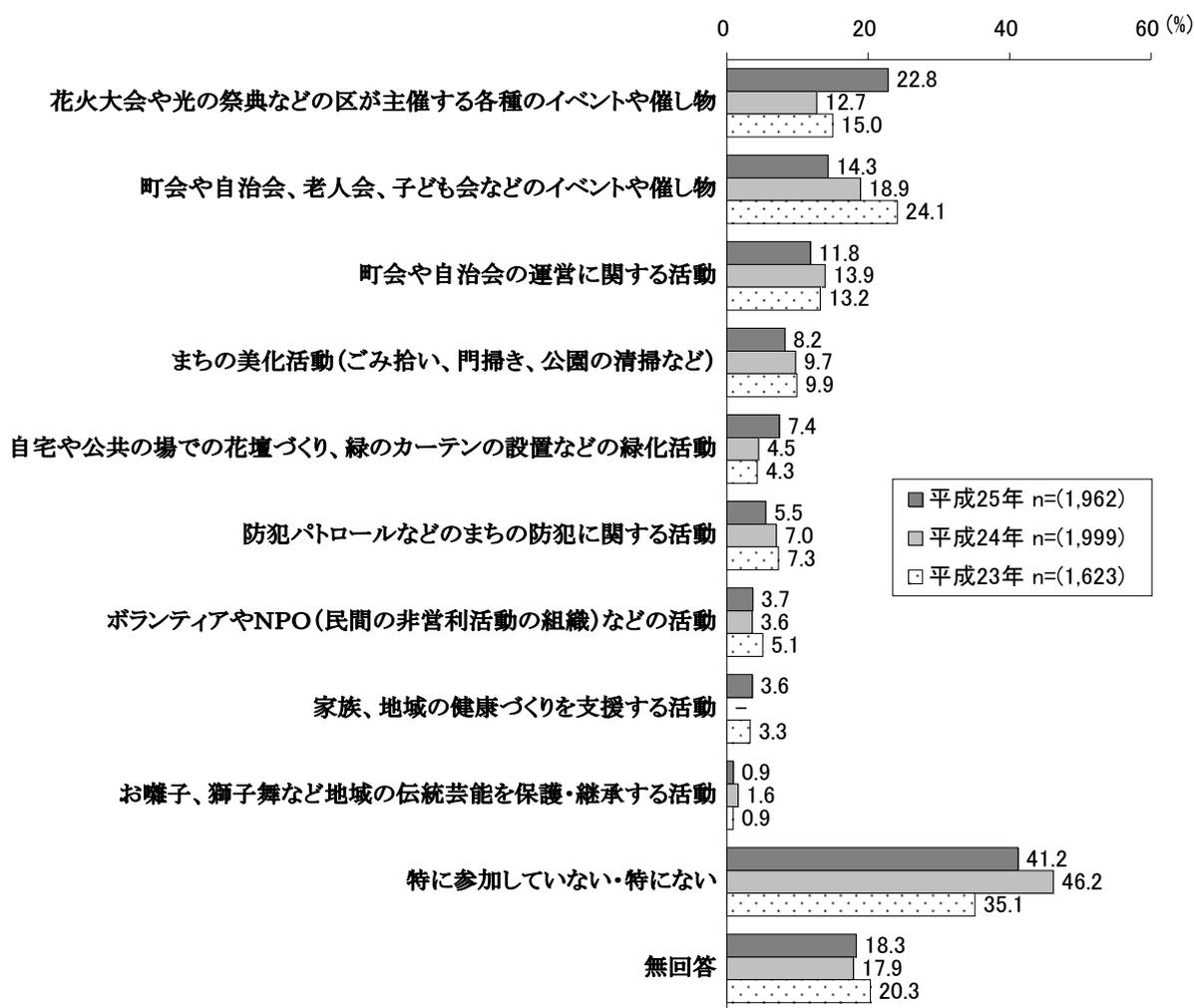


(2) この1年間に参加した活動と今後の参加意向

■ 活動経験・参加意向とも「区が主催する各種のイベントや催し物」が2割台で最多

問25 あなたがこの1年間に参加された活動と、引き続き、または今後あなたが参加したいと思う活動はどれですか。(〇はいずれも、あてはまるものすべて)

図6-2-1 経年比較／この1年間に参加した活動

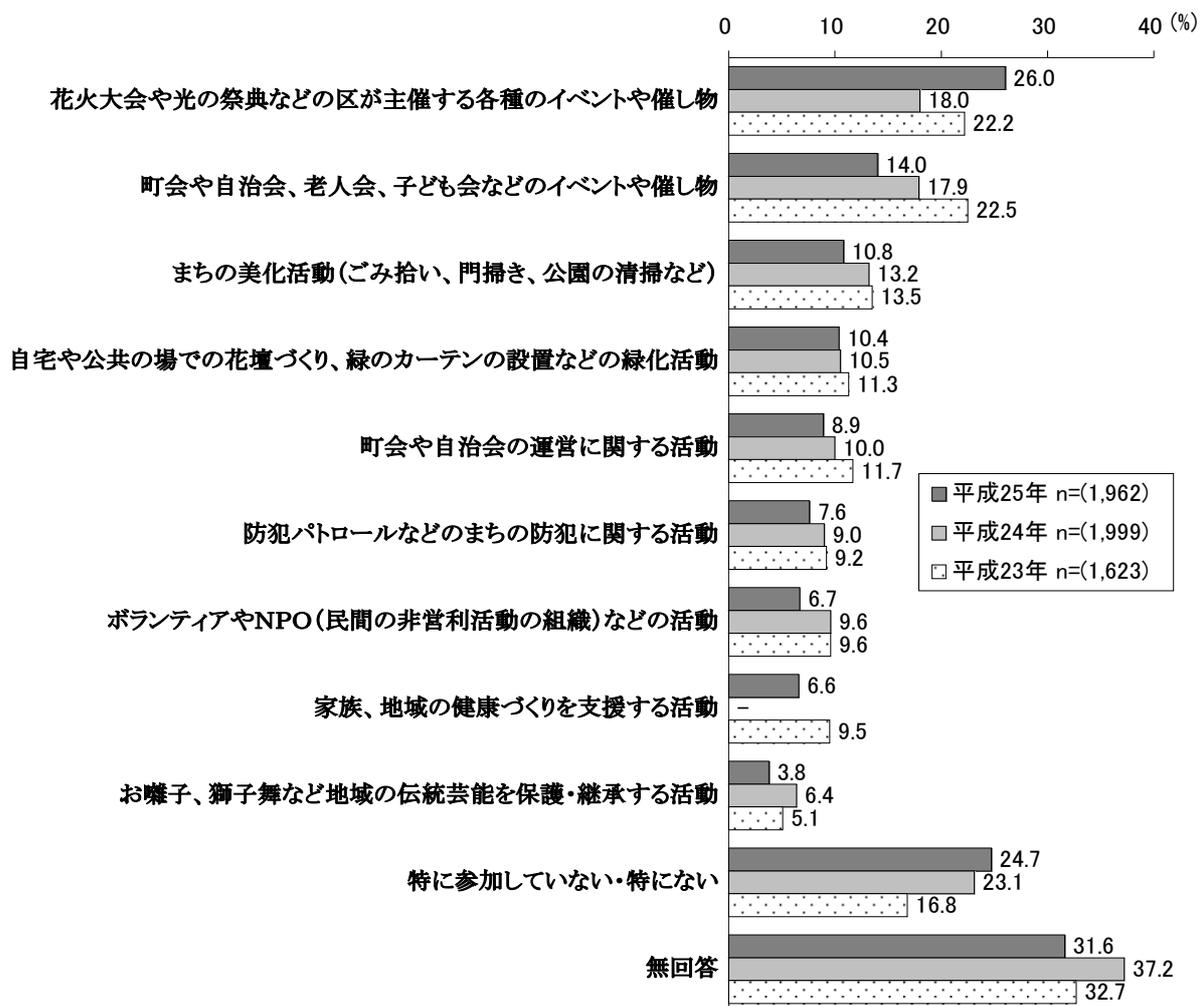


※平成24年度調査では、選択肢として「家族、地域の健康づくりを支援する活動」を設けていない。

この1年間で参加した活動としては、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」が22.8%で最も高く、次いで「町会や自治会、老人会、子ども会などのイベントや催し物」となっている。

経年でみると、今回調査では、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」が10.1ポイント増加し、「町会や自治会、老人会、子ども会などのイベントや催し物」が4.6ポイント低下している。

図6-2-2 経年比較／今後の参加意向



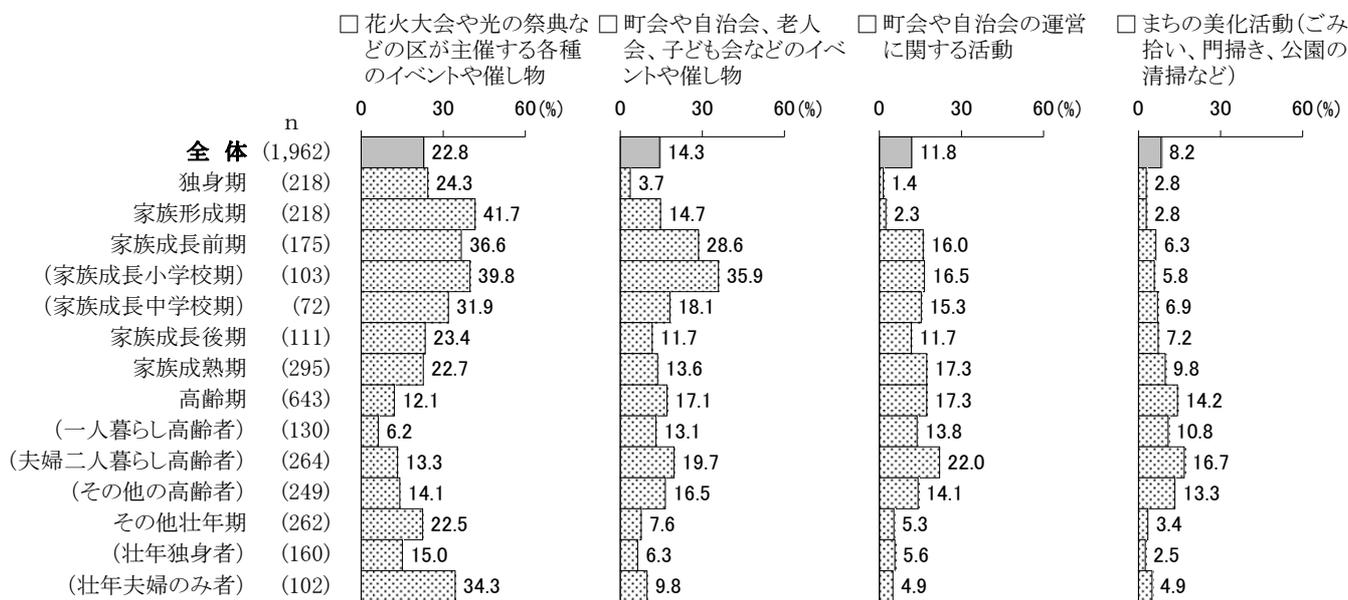
※平成24年度調査では、選択肢として「家族、地域の健康づくりを支援する活動」を設けていない。

引き続き、または今後参加したい活動としては、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」が26.0%で最も高く、次いで「町会や自治会、老人会、子ども会などのイベントや催し物」(14.0%)となっている。

経年でみると、今回調査では、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」が8.0ポイント増加し、「町会や自治会、老人会、子ども会などのイベントや催し物」は3.9ポイント低下した。

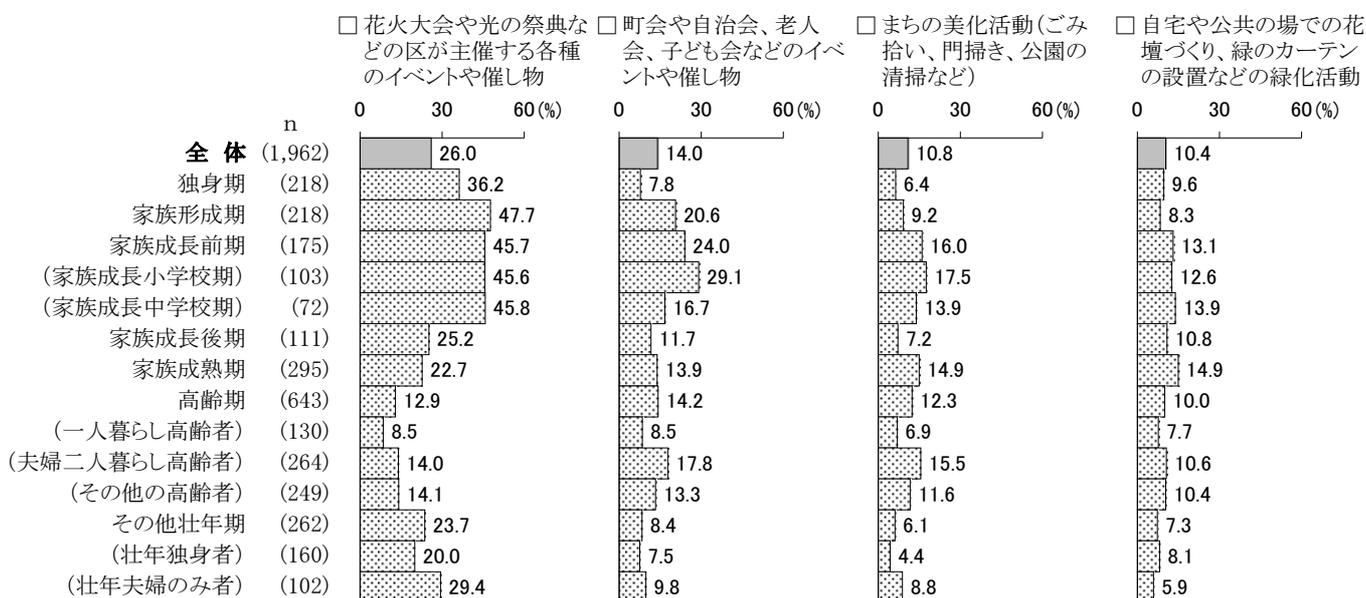
この1年間で参加した活動をライフステージ別で見ると、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」は、家族形成期、家族成長前期、家族成長小学校期で3割台半ばを超えて高くなっている。また「町会や自治会、老人会、子ども会などのイベントや催し物」は、家族成長小学校期で35.9%と他のステージに比べて高くなっている。

図6-2-3 ライフステージ別／この1年間に参加した活動／上位4項目



引き続き、または今後参加したい活動をライフステージ別で見ると、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」は、家族形成期、家族成長前期、家族成長小学校期、家族成長中学校期で4割台半ばを超えて高くなっている。また、「町会や自治会、老人会、子ども会などのイベントや催し物」は、家族成長小学校期で29.1%と、他のステージに比べて高くなっている。

図6-2-4 ライフステージ別／今後の参加意向／上位4項目

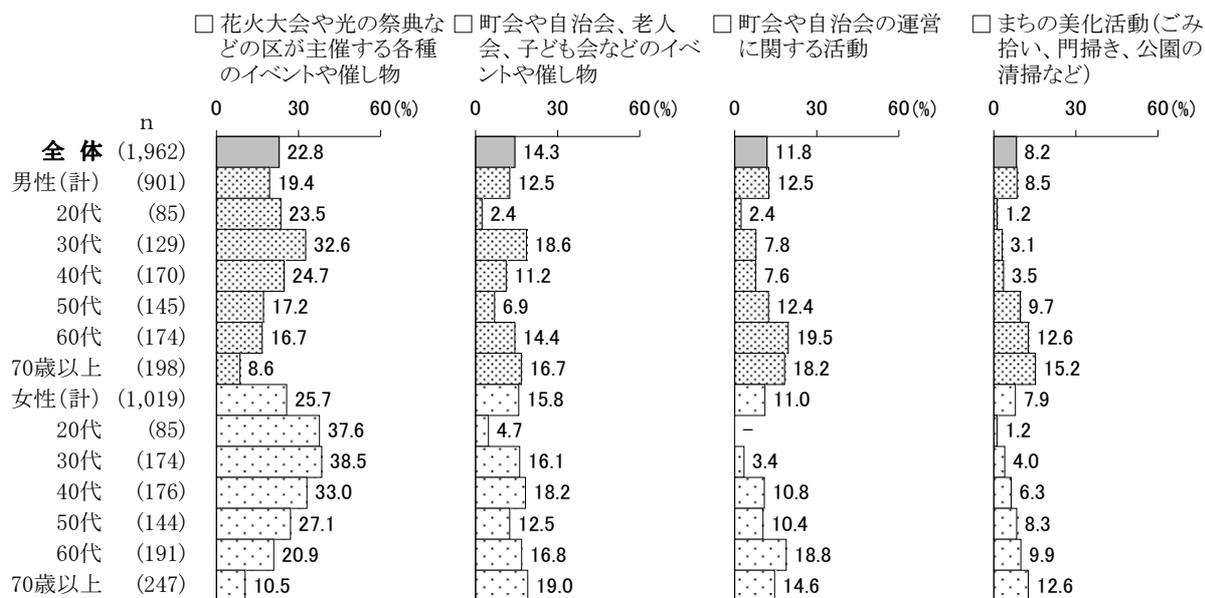


### 第3章 調査結果の分析

性別で見ると、〈この1年間に参加した活動〉については、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」が、男性19.4%、女性25.7%と男性より女性で高くなっている。

性・年代別で見ると、男性30代、女性20代から40代で「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」が3割を超えて高くなっている。

図6-2-5 性別、性・年代別／この1年間に参加した活動／上位4項目

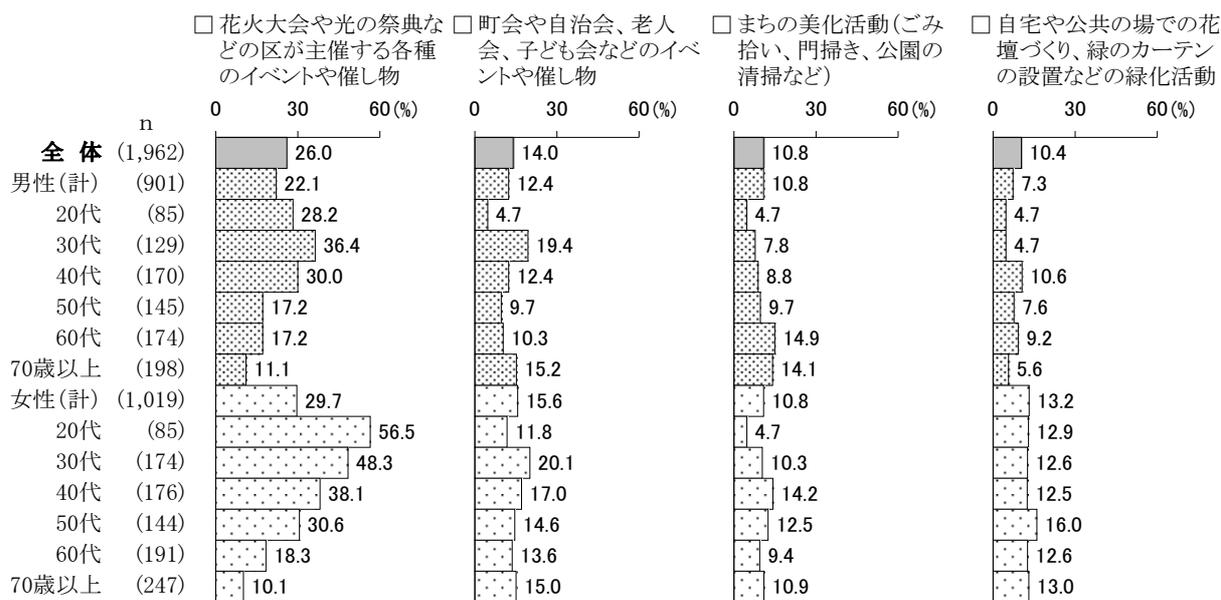


〈引き続き、または今後参加したい活動〉について、性別で見ると、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」が、男性22.1%、女性29.7%と男性より女性で高くなっている。

性・年代別で見ると、男性では、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」が、30代で36.4%と高くなっているほか、20代、40代でも3割前後となっている。

女性では、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」が若い年代ほど増加する傾向があり、20代では56.5%となっている。

図6-2-6 性別、性・年代別／今後の参加意向／上位4項目

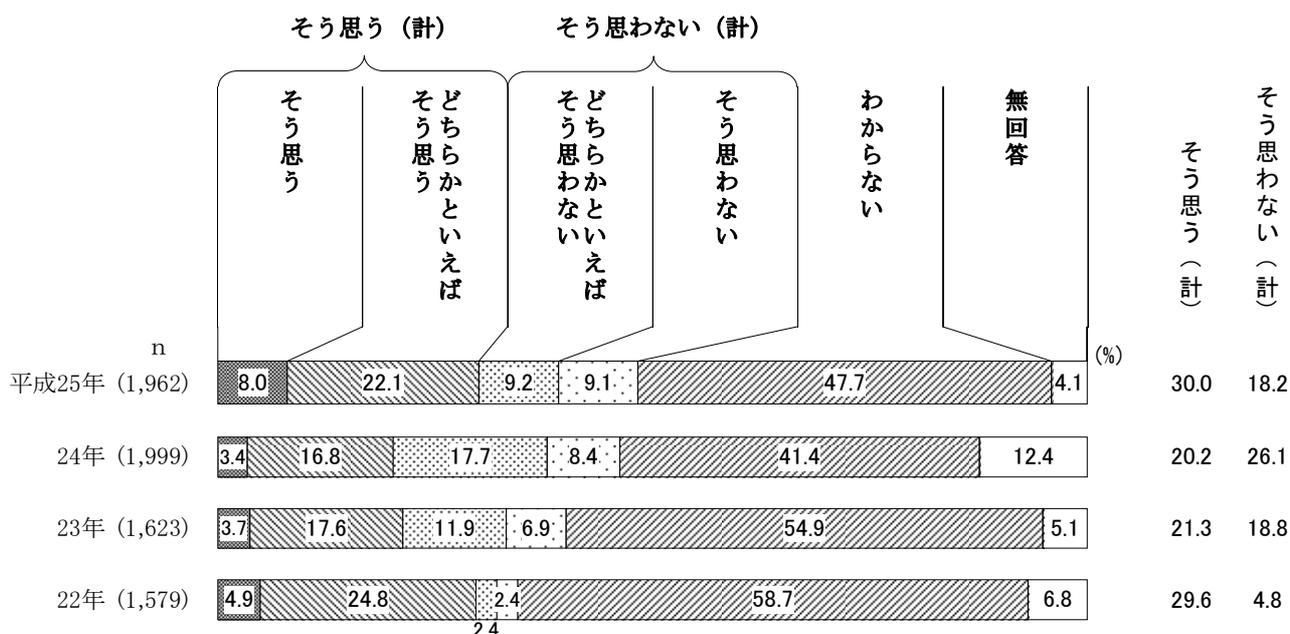


(3) 区役所と区民・団体等との協力・連携（協働）した事業推進の評価

■ 前年より【そう思う】が9.8ポイント上昇し、3割

問26 あなたは、区役所が区民・団体等と協力・連携（協働）して事業を進めていると感じていますか。（○は1つだけ）

図6-3-1 経年比較／区役所と区民・団体等との協力・連携（協働）した事業推進の評価

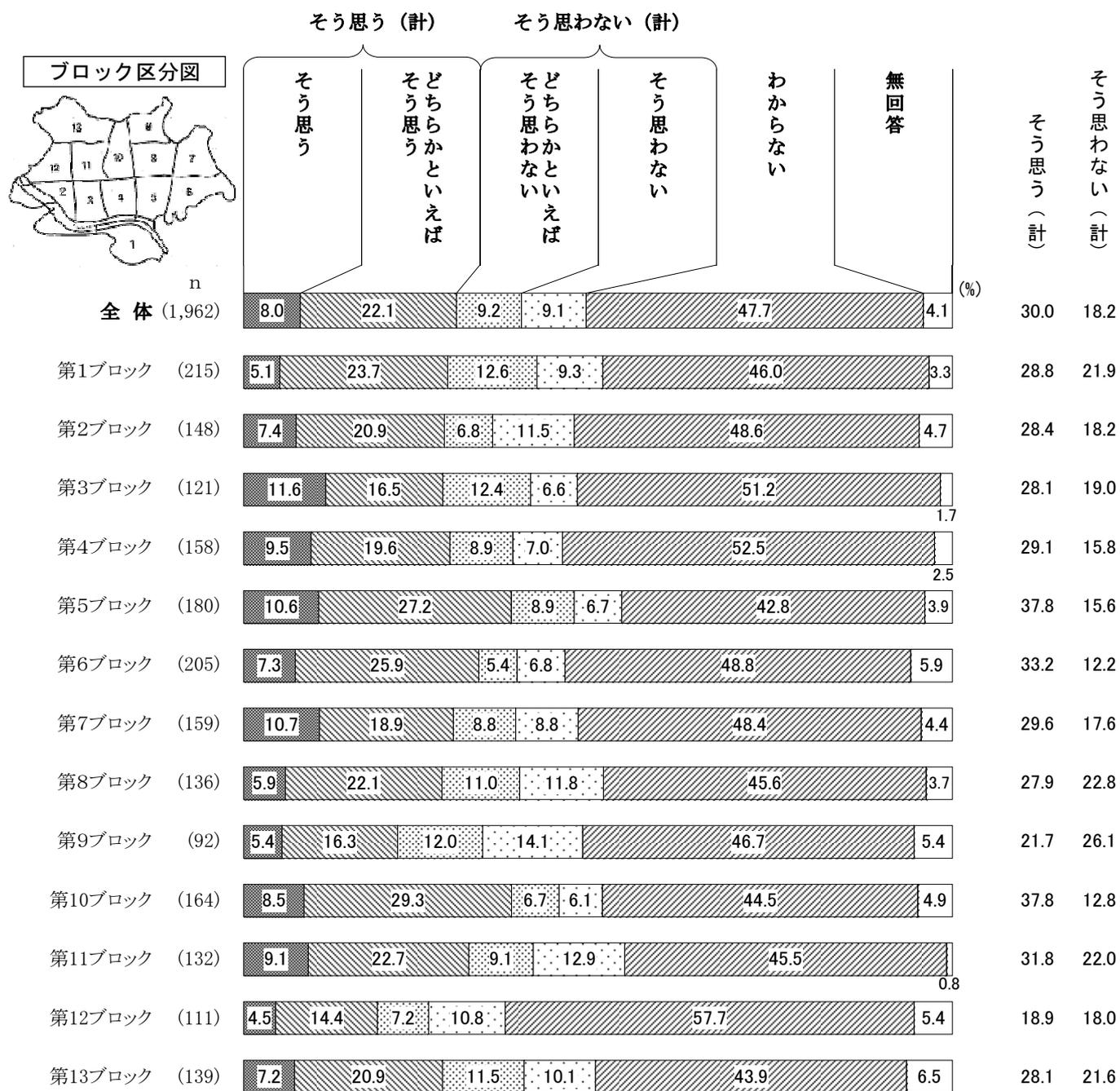


区役所が区民・団体等と協力・連携（協働）して事業を進めていることについて、「そう思う」は8.0%で、これに「どちらかといえばそう思う」の22.1%を合わせた【そう思う】は30.0%となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(9.2%)と「そう思わない」(9.1%)を合わせた【そう思わない】は18.2%となっている。

経年で比較すると、【そう思う】は、前回の20.2%から今回30.0%へと、9.8ポイント上昇している。

地域ブロック別で見ると、【そう思う】は、第5ブロック、第10ブロックで、ともに37.8%と4割近くを占め、他のブロックより高くなっている。

図6-3-2 地域ブロック別／区役所と区民・団体等との協力・連携（協働）した事業推進の評価



第3章 調査結果の分析

性別で見ると、【そう思う】は、男性29.5%、女性30.7%と男性より女性で高くなっている。

男性では、70歳以上で【そう思う】が41.4%を占めているほか、60代でも3割台半ばと高くなっている。

女性では、70歳以上で【そう思う】が41.3%を占めているほか、40代、60代でも3割を超えている。

図6-3-3 性別、性・年代別／区役所と区民・団体等との協力・連携（協働）した事業推進の評価

